

# 監査報告書

令和4年5月11日

社会福祉法人六三四  
理事長 山口 明 殿

監事 濱崎 一郎  
監事 小室 謙二



私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次とおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上のことにより、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### （2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### （3）その他付帯意見

別紙

## 3. 監査実施日及び場所

- ① 監査実施日 事業・財務：令和4年5月11日
- ② 場所 社会福祉法人六三四本部

別紙 1

## 監査報告その他付帯意見

令和 4 年 5 月 11 日

社会福祉法人六三四

理事長 山口 明 殿

監事 濱崎 一郎   
監事 小室 謙二 

### 意見(事業)

- 1、「ヒヤリハット報告書」「トラブル報告書」等も、会議等で情報共有がされている、引き続き情報共有を推進していくこと。グループホームは、変動勤務のため特に周知に努めること。

### 意見(財務)

- 1、予算超過をしている科目があったので、補正又は流用によって適正な予算管理を行うこと。
- 2、革工芸の販売収益について仕組みと位置付けの検討をすること。
- 3、月次報告について、承認欄の作成等により施設長の関わりを明確化すること。
- 4、グループホーム利用料については項目毎に費用の精算をすること。